

新製品の「企画・立案」とは～これからのエンジニアに必要なもの～(トーテックアメニティ)

・**受入企業** トーテックアメニティ株式会社(情報サービス)

・**テーマ** 新製品の企画・立案を通してエンジニアの仕事を学ぶ

POINT!

柔軟な発想を期待して、あえてテーマを設定せずにまったく新しい製品の企画・立案に取り組みます。グループワークを中心に、実際に働くエンジニアからプロ目線でレビューを受けることで、アフターコロナにおけるエンジニアとして大切なコミュニケーションの取り方など仕事の進め方・考え方について学びます。

実施内容

5日間を通して3人1組のグループで新製品の企画・立案ワークに取り組みます。

ワーク中は Zoom のブレイクアウトセッション機能と自社SNSサイトを活用して、メンバー間のコミュニケーションを図りつつ、定期的にエンジニアがレビューやフィードバックを行い、それをもとに改良を重ねます。

最終日のプレゼンテーションでは、学生ならではの柔軟かつ自由な発想で、「スマホ全操作ベッド」や「音を可視化するARメガネ」など斬新なアイデアが発表されました。

スケジュール

8月24日(月)～8月28日(金)の5日間(35時間)

8/24(月)	イントロダクション 自己紹介 問題提起(個別)	8/27(木)	定量化(グループ) 市場・現状調査(グループ) レビュー③
8/25(火)	提起した問題の検討(個別) 企画選定(グループ) レビュー①	8/28(金)	最終レビュー 総評 自己・他者評価
8/26(水)	企画選定(グループ) レビュー②		

受入担当者コメント

初めての5日間オンラインでのインターンシップ開催となりました。インターンシップの目的である「就業体験」を、果たしてオンラインで達成できるのだろうか、社員も試行錯誤を繰り返しました。通常のインターンシップとは異なり制約が多い中、少しでも「企画・立案」業務の一端を知り、エンジニアとはどういう仕事なのか気付きを得てもらうことを目的としていましたが、5日間の体験を通じて、皆さんにはエンジニアとして求められる資質や、社会人として働くとはどういうことかを感じていただけたかと思えます。今後はオンラインと対面それぞれの良さを取り入れたインターンシップを検討していく予定です。

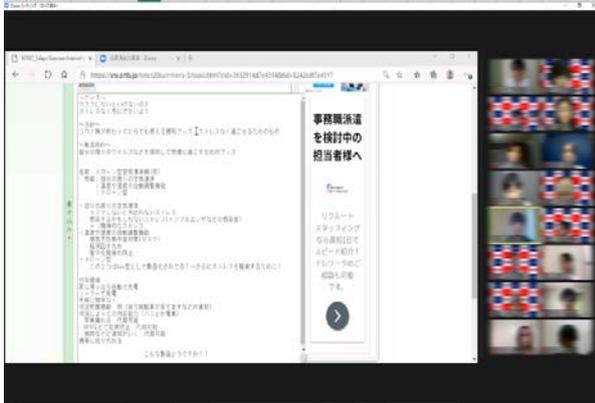
参加学生の声(工学部3年)

今回のインターンシップでは、5日間すべてオンラインとのことでしたが、グループワーク中心でメンバーや社員の方と話し合う機会が豊富にあり、コミュニケーション力が身に付き、企画立案の一連を通して、企画をつくる難しさや社会人としての納期に対する意識を実感することができました。

また、エンジニアの方から複数回レビューしていただいたことも有難かったです。いろいろと質問することもできましたし、ものごとを見るときの視点や日々の振り返りと改善の重要性を教えていただきまし

た。

これまでの生活ではあまり意識しなかったことを多く学ぶことができたので、今後もこれらを意識して学生生活を過ごしていきたいと思います。



製品発表の様子



業務日報



懇親会の様子

【音を可視化するARメガネ】
「視えないものを視えるように」

【販売価格】
販売価格：ARメガネ...約6万
マイク...約3万
その他制作費含め 合計20万円

【機能】
緊急モード：危険音を検知した場合、音の発生源に物体を表示する。
後方からの危険音を検知した場合はパナーで通知し、振り返ることを勧める
パナーは10秒表示(音の物体に近づいている場合は10秒ごとに再通知)
GPS機能で使用者の位置と音の発生源との距離をARメガネの画面に表示する。

【仕様】
ARメガネの質量 約50g
画面サイズワイドパネル(16:9)
解像度 1280×720ドット(HD)
色 赤・黒・白
バッテリー駆動時間 約8時間
SIMカード搭載
GPS搭載

危険音の種類
爆発音
踏切の音
クラクション
叫び声
歩行者信号の音

※イメージ図

会話を文字に起こす

考案された新製品